

山と海と空のまち

# 広報 ちのち

2012

6  
329号

特集

## Dear 都農町

～子どもたちに残せる未来をつくるために～



# まちの魅力を生かした道の駅へ

広報の3月号掲載の特集「道の駅」で平成25年オ  
ーブンに向けて準備を進めている都農町の道の駅  
について意見を募集したところ、5月末までに、県  
外者を含め22人の意見・提言が寄せられました。  
主なものを紹介します。



## 物産館について

▼特産物の果物や野菜を練り込んだパン、揚げたての金ふぐ(フィッシュ&チップスのような)など都農ならではのものを(60代女性)▼道の駅に行けばあるという魅力的な商品の開発(20代女性)▼地元の新鮮な魚や野菜を使った食事(60代)▼目玉商品を作り、朝どれ野菜を適度な量、豊富な種類並べる(60代男性)▼来客者に「安全と新鮮さに努力している」姿を植え付ける(60代男性)▼品ぞろえが大事。品物が少ないと足が遠のく。営業時間中は駐車場に車が無い状態にしない。空の状態は入りにくい(60代男性)▼生ハムを使ったサラダなどが気軽に買えると女性はうれしい(60代女性)▼都農の野菜や果物を使った生ジュースがあれば旅の疲れがとれる(50代男性)▼都農に行けばすごい物があるという物が必要(60代男性)

## 景観・施設について

▼せっかく神社と川があるので、木陰にオーブンテラスを作つて癒しの場を(60代女性)▼Aコープと道の駅の駐車場を自由に行き来できるように歩道橋やトンネルを設置しては(50代女性)▼南国のイメージでフェニックスをたくさん定植してほしい(60代男性)▼展望台を作りワイナリーと海を見せる(60代男性)▼お年寄りが元気で生き生きと生活できるような憩いの場をつくる(50代女性)▼亡夫の故郷。ぜひ道の駅を成功させて桜を植えてください。喜んで協力します(70代女性)▼広くて明るいトイレを希望(50代男性)▼最初から別棟で観光交流施設を作るべきではない。会議室は公民館などを代用すべき。事務室は物産館内に設けられないか(60代男性)▼宿泊施設を整備しスポーツ合宿やキャンプ誘致を(40代男性)

## イベント企画について

▼町民のおもてなしの心で情報発信。「えびす顔日本一決定戦」や県内外から募る男女「プロボーズ大作戦」などを開催(40代男性)▼パン教室などをして楽しい(60代女性)▼ペットグッズやドッグ(ネコ)カフェはどうか。リピーターになつてくれると思う(50代女性)▼おたのしみ券(70代男性)▼手作り作品などの展示即売が気軽にできるようなスペースにしたら人が集まるし、趣味を持つ町民に活力が出る(60代女性)

## その他

▼外に出掛けるのは女性。女性の意見を反映させないと長続きしない。女性が行きたくないようなおしゃべりな場所(60代女性)▼ドッグランにして利用者からお金をとつたらどうか(50代女性)▼尾鈴山の名前を入れて登山客にも利用してもらおう(60代女性)▼ウォーキングの拠点になればいい(60代女性)▼アウトドア派が増えている。キャンプ場整備が必要(50代女性)▼気軽に無料で運動する施設を作る。スポーツ後に入れる温泉も(50代女性)▼何億もかけてそれほど利益が上がるのか(60代女性)▼道の駅は一番大事な町民の同意を得ていない(60代男性)▼都農はやっていることはおもしろいがまとまりがなくバラバラ(20代女性)

## ご意見ありがとうございました

道の駅の運営については、会社設立に向けた協議が始まりました。5月31日に開催された出資予定団体による第1回出資団体協議会では、出資(設立時)を町商工会、尾鈴農協、町漁協の3団体で行うこと、また会社名を「株式会社都農まちおこし屋」とすることが確認されました。今後、必要な手続きを経て、7月上旬に法人登記を行う予定です。

物産館では、新鮮で安くおいしい品物を豊富にそろえるために、皆さんからいただいた意見を参考に進めていきます。「ドッグラン」「ペットフードの提供」などは既に導入する方向で検討しています。

施設整備面では、まず現計画で成功させることを目指し、次の段階で、宿泊施設、歩道橋、トンネル、展望台なども検討していく予定です。観光交流会館は、交流イベントのほか町内産業の振興拠点施設として必要な施設です。必要最小限の整備にとどめることを前提に計画しています。

今後も随時、皆さんからの意見を参考にしながら進めていきますので、ご協力をお願いします。

## 道の駅

# 各施設の名称を募集します



【物産館】地元の新鮮な農水産物やお土産品を提供する直売施設です。  
【観光交流会館】物産館の隣で、交流イベントや研修・会議などを行うことができる施設です。  
【橋】都農神社と道の駅の間を流れる都農川に歩行者専用の橋を架けます。

- 応募期間  
6月21日(木) ~ 8月31日(金)
- 応募資格  
応募時点で町内に住所がある人、または都農町出身者ならどなたでも応募できます。
- 応募方法  
①官製はがきによる応募  
②電子メールによる応募  
③FAXによる応募  
④持参による応募
- 賞品  
名称として採用された作品の中から抽選で賞品を贈呈します。  
☆名付け親賞  
(それぞれの施設ごとに商品券贈呈)

- 応募にあたっての注意事項
- ・応募は1人何点でもできますが、同じ名称は1人1点限りとします。
- ・名称については、地域の特徴を表す名称で、全国にアピールできる名称、施設にふさわしい名称とします。
- ・同じ読みの名称であっても、漢字、ひらがななどで表記が異なる場合には、別作品とみなします。
- ・応募された名称の数で選定されることは原則としてありません。
- ・応募作品に関する一切の権利は、都農町に帰属するものとします。
- ・応募作品は返却しません。

## 応募記載事項

- ①物産館の名称「○○○○○○○○」 観光交流会館の名称「○○○○○○○○」  
橋の名称 「○○○○○○○橋」 ※漢字の場合はふりがなを付けてください。
  - ②名称の理由
  - ③住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、電話番号  
※なお、申込者の個人情報については、厳正に管理し、他の目的には使用しません。
- 送付先 〒889-1201 都農町大字川北4874番地2 都農町役場総合政策課  
☎0983-25-5711 FAX 0983-25-1029 電子メールアドレス sogo@town.tsuno.miyazaki.jp





総合型地域スポーツクラブ  
都農 enjoy スポーツクラブ  
マネージャー 河野 景子 さん

【profile】長崎県佐世保市生まれ。岩山で夫と長女と3人暮らし。34歳。

**地域のこと、みんなで考えたい**  
文部科学省によって全国各地の自治体で設立  
が委託されている、総合型地域スポーツクラブ。  
スポーツの振興だけでなく、地域の問題解決に  
積極的に取り組み、地域を支援していくことが  
期待され始めています。  
都農の総合型スポーツクラブでは3月、広く町民  
に呼びかけて、「ここからつながる地域の絆、エン  
ジョイライフ、チャレンジライフ」と題したグ  
ループワークを初めて開催。世代や業種を超え  
た人たちが、子育てや地域のつながりなどにつ  
いて活発に意見を交わしました。  
「都農町には、それぞれの立場や職業を通して  
元気なまちにしたいと頑張っている先輩方がた  
くさんいます。皆が同じ方向を見て手を取り合  
えば、大きな力になるだろうとワクワクしてい  
ます」と話す同クラブマネージャーの河野景子  
さん。出産を機に都農に住み始めた4年前、子

「生きることに感謝し、毎日をもっともっと楽しめる人が増えたら、その地域はキラキラしたまちになると思います」



グループワークでは、若い人や年配の人が一緒になり、地域のさまざまな課題について意見交換をした

Interview

心に残るふるさとづくりを



東京矢研会(在京都農町人会)  
会長 吉川 聖一 さん

夏祭りの太鼓台のバトルは子ども心に強烈な思い出。会員たちは皆、ふるさとに対する強い思いを持っています。口蹄疫のときは、101人から約80万円の寄付が集まりました。町政施行100周年に向け故郷を日本一の桜のまちにする企画にも、協賛金が集まってきています。ふるさと都農町の発展を願っています。

協力し合う地域づくりを



都農町自治会協議会  
会長 高田 明 さん

それぞれの良さを生かして活動を起す地区が増えてきました。この動きがまち全体に広がってほしいですね。都農はこれまで「よそ者」の考えをあまり受け入れられないところがありました。「やる人だけやればいい」ではなく、みんなで協議して、協力していくことが大きな結果につながるのではと思います。

お互いを認め合うまちに



若風会  
会長 筒井 正志 さん

「若い力でいろいろな方向からまちを良くしたい」と4月に会を設立。20代から40代の異業種の人が、まちを盛り上げるために意見を出し合い、新たなアイデアやエネルギーを生み出しています。お互いを認め合った上で、いいところはいい、悪いところは悪いと議論ができるまちになると、都農はもっと発展していくと思います。



# Dear 都農町

～子どもたちに残せる未来をつくるために～

来年完成予定の道の駅。今ここに住む私たちの生き生きとした生活のために、子どもたちの未来の可能性のために、大きな期待が寄せられています。都農らしい魅力ある道の駅をつくるには、私たち自身がまちの魅力や価値を再認識し、それを十分に生かす必要があります。今号では、それぞれの視点で「まちを良くしたい」と考える人たちの思いや行動から、まちの魅力を高めるためのヒントを探ります。

**食でまちを盛り上げたい**

地元の魅力を生かした食でなんとかまちを盛り上げたい―都農町の新ご当地グルメ「都農ふぐ丼」の開発は、関係者たちのこの強い思いから始まりました。都農漁港で水揚げされる金ふぐ(シロサバフグ)を使って、昨年7月から試食会と協議を何度も重ねて作り上げた味。本年2月のデビュー以来、わずか4カ月で6000食を売り上げ、さまざまなメディアにも取り上げられるようになりました。

「人口が減っている今、交流人口を増やすしかない。地元産にこだわる理由の一つは、そこでしか食べられないものじゃないと遠くからお客さんは来てくれないから。いかに地元の魅力をPRして人に来てもらうかにかかっています」と話すのは、都農ふぐ丼推進協議会の甲斐和寿会長。デビュー後も、あらゆる手段を使って積極的に情報を発信するなど、仕掛けづくりに奮闘しています。

「都農の人たちにも、都農のいいところをどんどんPRしてもらいたい。ふぐ丼を目当てに町外から来た人たちは、ガソリンを入れたり飲み物を買ったりと、必ず都農でお金を使ってくるんです」

町全体の経済効果にも期待がかかります。

**必要なのは町内外の連携**

情報発信に力を入れるには集客以外にも



地元の食材をふだんに使った都農ふぐ丼



都農ふぐ丼推進協議会のメンバーと関係者たち  
(写真提供：株式会社アイロード)

もう一つ大きな理由があります。「これからの都農に必要なのは連携。町内の組織が連携してまちの魅力を盛り上げるのも大事だし、外貨を稼ぐためには町外とつながることも必要」。全国のご当地グルメ組織と交流し協力し合うなど連携の方法を模索しています。「なんといいっても、都農に人が来てくれたり、人とながつたりすることってそれだけでうれしいんですよ」と生き生きとした表情で話す甲斐さんや同協議会メンバーたち。新たな挑戦を楽しみながら未来への可能性を広げています。



都農ふぐ丼推進協議会  
会長 甲斐 和寿 さん

【profile】高千穂町生まれ。  
(有)慶助。木城町在住。57歳。

「人を大事に、地域を大事にしないと、子どもたちに残せる未来は創出できないと思います」



都農交番  
黒木 正文 所長

【profile】都農町生まれ。昭和53年から宮崎県警察勤務。平成12年～同15年9月、同24年4月からは所長として2回目の都農交番勤務。長年、柔道スポーツ少年団の指導を続け、現在も2つの道場で週5日指導に当たっている。柔道6段。都農高校から福岡工業大学。下瓜生で妻と二人暮らし。56歳。



対談 まちづくりは人づくり

# 都農の未来あふれる子どもたちへ

本年4月、都農高校に校長として赴任してきた後藤徹一さんは本町赴任が3回目。縁あるこの地と都農高校に深い思い入れがあるといいます。また、同じく4月に都農交番所長として赴任してきた黒木正文さんは2回目の都農交番勤務。小中高と都農で柔道一筋に育ちました。二人とも柔道指導者であり、前回の本町勤務のときには、都農高校柔道部の監督（後藤校長）とコーチ（黒木所長）として共に子どもたちと向き合ってきました。柔道指導にける情熱・地域の子どもたちに向けた温かいまなざしは今なお続いています。まちづくりは人づくりといわれます。長年子どもたちを見守ってきた二人に話を聞きました。

黒木 柔道を通じてきて良かったと思えます。何があっても、「ずっと頑張ってきた」ということが自分の支えになります。大学時代、親から荷物が送られてくると涙が出ることもありましたが、厳しい練習と先輩たちという「修行」の中で一人ぼっちを感じていたとき、親が来てくれたと思えました。小中高と愛情あふれる指導の中で柔道をさせてもらったからこそそういう気持ちにもなり、厳しい状況でも続けられたのだと思います。そこで耐えたからこそ今があり、どんなことがあってもへこたれんという思いがあります。

後藤 「自分はこんな仕事を指したい」「今度の大会で優勝したい」という子に対して、じゃあ、そのために何をすべきか、何ができるかを大人も一緒に考えてあげることが子どもを伸ばすことにつながります。なにも、きついことなんかなくても、今の時代周りに楽しいことはいっぱいある。それでも一生懸命何かをやる人には、精神力もつくし、仲間もできるんですよ。

黒木 私、柔道以外の勉強なども一生懸命するように頑張ります。人が協力してくれる地域はやはり伸びます。非行に走る時間を与えず、一生懸命思いを入れてやるものと一緒に見つけてあげよう。打ち込むことがあることで子どもたち自身のエネルギーも変わります。強くなるために何をすればいいかを真剣に考えるようになる。そうすると、柔道以外の勉強なども一生懸命するように頑張ります。

後藤 最初は手の掛かる子でもかかわり合っていくうちに立派になっていきます。それは、好きなことができて、それに打ち込むことで自分の弱さを知っていくから。自分に向き合うようになって子どもは変わっていきます。何か自信の持てるもの一つ見つけさせてあげることが大事。まだ見つかなくても、何でもいっから一生懸命やってみれば、必要なこといつか出会い、つながっていくもの。教師という職業の中でも、バックボーンである柔道がいつでもどこかにあって支えられてきました。

黒木 今の子どもたちにも、何か一生懸命打ち込んでほしい。大人は、それを褒めて認めて、子どもたちの支えになれるまちであってほしいですね。後藤 都農の子どもたちは純朴です。いい面も悪い面もストレートに出ます。都農は祭りの団結力など地域のとても良いものが残っているまち。このまちが持つエネルギーを伸ばしていきたいですね。

黒木 地域の学校をそのまちに住む人たちが愛することはまちの活性化につながります。都農高校は「生徒と職員が夢と希望を語り合う学校」を理想像としています。ぜひまちの人がのぞいてみたくなる学校として、これまで同様、共に子どもたちを見守り育てていただきたいと思っています。



都農高等学校  
後藤 徹一 校長

【profile】延岡市生まれ。昭和52年から高校教諭となり、平成5年～14年(担任・生徒指導部長、同校柔道部顧問)、同20年～23年(教頭)、同24年4月から校長として3回目の都農高校勤務。宮崎市に妻と長女・二女(共に高1)を残し、都農町松原で単身赴任中。58歳。



## 宮崎県立 都農高等学校

都農町大字川北4661番地  
Tel 0983-25-0104

昭和27年、都農町民の強い期待の下、「宮崎県立高鍋高等学校都農校舎」として、都農小学校講堂の間仕切り教室から始まった。県予算がつかない中、全額地元負担で3年かけて校舎を建設。校舎、周辺の整地作業には、地域住民や生徒が奉仕した。町民あげての独立運動の結果、同30年2月、「宮崎県立都農高等学校」が発足。グラウンドも町民からの寄付や土地寄贈が元になって作られている。平成9年、県内初の総合学科を開設。矢研系列(普通科系)、日向灘系列(ビジネス系)、尾鈴系列(健康福祉系)。274人(平成24年5月)。



宮崎大学 教育文化部 准教授  
**根岸 裕孝 氏**

**【産業振興条例（＝中小企業振興基本条例）】**  
地方自治体が地域の中小企業を重視し、その振興を行政の柱としていくことを明確にするために策定する条例。「目的」「定義」「中小企業の基本的な方向」「まちの責務」「中小企業者の責務」「町民の責務」が最低限、定義される。本来異なる、中小企業支援と産業振興を密接に関連させていくことで地域経済活性化を進めることを目的としている。都農町では、昨年商工会主体で、条例制定のための学習会やワークショップを開催。今後は、準備委員会を設置して、行政や町民も一緒に地域活性化のヒントやニーズを拾い上げながら、平成25年4月の条例施行を目指す。

**【profile】**  
栃木県出身。平成4年、九州大学大学院経済学研究科修士課程経済工学専攻修了。同13年から宮崎大学教育文化部所属。専門は、産業立地政策・地域経済政策。まちづくりや市民活動と行政との協働についての講演なども多い。

## 夢と希望が持てる 新生都農づくり

「産業振興条例」という言葉を聞いたことがありますか。これは、「地方自治体が地域の中小企業を重視し、その振興を自治体行政の柱にする」というもの。地域の産業が元気になることで、雇用が創出されるなど、まちの元気につながることを期待されます。

都農町では、まちの活性化や雇用の確保を目的として、この条例の制定に向けて動き始めました。産業振興条例とはいったいどういうものなのか、なぜ必要なのか、この条例でまちはどう変わるのか、まちを良くするために私たちは何をしていけばいいの—。

さまざまな地域の活性化に携わり、「これからのまちづくりのキーワードは▶雇用の場▶町民総力▶地域内外のネットワーク」だと話す宮崎大学准教授の根岸裕孝さんに話を聞きました。

### 雇用をつくるために

この条例が必要な一番のポイントは、地域の雇用を誰が作るのかということ。

主体となって雇用をつくるのはやはり企業です。そして地域の経済活動は中小企業がほとんど。中小企業が一人でも雇用を増やすことの積み重ねが、実は日本経済の中で効いています。ここが雇用を伸ばしていかなければ、地域の雇用は増やせないのです。その中小企業の振興を自治体行政の柱にし、一緒にまちを活性化していくための仕組みをつくっていかうというのがこの条例なのです。

### 共に夢を描くための道具に

「人の足を引っ張る」という言葉がよく聞かれます。原因の一つとして、自分たちが夢や希望を持ってなくなっているのではと思います。夢や希望が無くなると誰しも、人の夢を壊したくなる部分があります。

産業振興条例とは、夢や希望を語れる、このまちに住んでよかったと実感できる道具の一つだといえます。町民一丸となって働く場所をつくっていく、子や孫に良いまちをつないでいく、そのために大切なのは、町民と行政が共に夢を描くことです。

最近良かったと思うのは「都農ふぐ丼」です。町外でもとても評判がいい。前向きに取り組んできた成果が出ています。この成功を見て、都農にこんなに可能性があるのかと驚きました。

とつながっていくか。その力がなかったら都農の経済の活性化、雇用づくりは難しいと思います。

地域社会を変えていくものは夢と希望と人材育成、そして連携です。

### 都農の強みを生かす

条例を作るうえで重要なことは地域経済の分析。今どういう状況で何をしなければいけないのか、戦略を練る必要があります。都農の強みを知るのです。

都農町は、飲食料品製造業、耕種農業、畜産業の3部門で町内生産額の半分を占めています。まさに「農の都」。ここを生かす視点が重要です。

所得を増やすには、生産だけでなく、加工販売までの一貫性を通じられるかがポイント。ふぐ丼がまさにそうですね。ふぐをそのまま市場に出すのではなく、丼という形で加工調理して販売する。こうすることで2次産業、3次産業へと広がることになりま。

そういう面で道の駅はおもしろい取り組み。全国の道の駅では、加工品、レストラン、地域の給食を手掛け、直売所ブランドとして大都市で販売している。加工してここだけのおいしいものが食べられるとかイベントをするとか、そこに交流があるとか。そんなことまでしているのが全国的な直売所の方向性。しかし児湯郡ではそれがまだ見られない。チャンスを通りしていると思います。考えてデザインしてつないで実現していくことが重要です。

都農はワインも世界的な評価を得ています。そんな地域の資源をどのように生かしているかを皆で話し合うこと、ワクワクするようなことへのチャレンジにそれぞれの立場から取り組むことが、大きな成果につながるのだと思います。

人口も減り、経済も厳しい。しかし、実は今が飛躍のチャンスでもあります。

### 求められるのは連携力

条例を武器にどう雇用をつくっていくか。これは連携です。これまでの「作って終わり」という産業は、これから厳しいことが予想されます。安い物がどんどん入ってくる時代に生き残るには、いかに他と違うものを作るかということ。これは各産業が連携しないとできない。お互いの知恵を借りながら新しい良い物をつくっていく。そのつながる力・連携する力が今、求められています。足を引っ張っている場合じゃないのです。

これからは、地域の中だけでなく、外とどう向き合っていくかも重要です。ふぐ丼も、地域の中で頑張る人と、外から来た専門家が一緒になってやったからこそ良いものができたのです。そしてそのPRにも外の人の連携が大きい。一緒にこの地域を良くしたいという地域内外の応援団がいて、そんな人たちとつきあう中で自分たちも成長する。いろいろな人と組むことで、可能性がどんどんふくらみます。

中で足を引っ張り合うのではなく、いかに外の志ある人

### 誇り、夢、希望が持てるまちに

都農町には良い資源がたくさんある。そしてそれを生かしたいという思いがあります。

2月に都農町でワークショップをしました。そこで出てきた意見として、「こんなまちにしたい」に、▼笑顔挨拶日本一▼町民が褒め合う▼前向きな意見を受け入れる▼若者が元気など。「あつたらいと思っても」に▼学生の力▼子育て環境の充実▼アピール・連携などの意見ができました。こういうまちの課題を洗い出す作業をしながら条例への取り組みを進めていくといいと思います。産業の側面から、できる取り組みを皆で話し合い実行する。同時に雇用の場をつくっていくのです。

ワクワクするような意見をたくさん集め、やれそうなものを実行し成功体験をつくる。これは町民の誇りにつながります。できるためにはどうすればいいかを皆で考えていく。知恵と行動力で、今あるものを使っていけばいいんです。実現し、評価されることでまた、誇り、夢や希望ができていくのだと思います。都農町には、チャンスや可能性がまだまだあると思っています。

行政と町民。まちづくりにはその両輪が大切です。情報を共有してどんどん意見を言う。いろんな人と交流する中で自分が変わって、社会が変わる。そういうことを楽しんでいけるまちになつてほしい。

大事なことは、自分たちがどうしたいのか、どういうまちをつくりたいのかということです。

一人一人の夢がまちの未来に輝きをつくる

種をまく  
それぞれの視点から見えてくる、まちの未来のために大切なこと。  
可能性を模索し続けている都農ふぐ井推進協議会のメンバーたちは自分の仕事の合間に、先進地のノウハウを得ようと県内外各地に自費で出掛けたり、児湯地域で連携体制を作ろうと川南町・高鍋町・新富町などのグルメ開発に協力したり、フェイスブックなどでの情報発信や数多く来るメールの対応などの活動をボランティアで行っています。しかも、とても楽しそうに。日々更新されるブログは、プラスのエネルギーであふれています。  
「都農で育った子どもたちが将来ここで何かしたいと思っても、元気なまちじゃないと帰ってきたいと思わないじゃないですか。帰ってきたくなくなるのは、働く場があって楽しい時間が過ぎせそうなまち。地域の子どもたちに、働く場の選択肢として、大都会ではなく『生まれ育ったまち』も与えたいんです。だから頑張れるのです」  
ふぐ井をきっかけに得た販売ノウハウなどの知識を地域に還元することで、「子どもたちに残せる未来を創出する」という夢を実現したいといいます。「これには最低10年は必要でしょう。しかし、屈強な苗は

育ちました。あとは、手を取り合い、共に成長していただくだけ。そしてまた新しい種をまこうと思えます」  
「まちが輝くために」  
北海道の町工場で宇宙開発をしている植松努さんの「きみならできる!」「夢」は僕らのロケットエンジン」という本に「『だったらこうしてみれば?』は夢を叶える魔法の言葉」だとありました。「こうしたい」という思いや夢に対して、「どうせ無理」ではなく、「だったらこうしてみれば?」という言葉が出てくる人はゼロから1を生み出すことができる、そしてあきらめない人なのだそうです。  
前向きなプラスの言葉が町中にとびかい、一人一人が生き生きと生活していきるとしたら、まちはきつともっと輝きを増します。自分や地域に誇りを持つ子どもたちを育てるのも、子どもたちが将来このまちに住んでよかったと思える未来をつくるのも、今ここに住む私たち一人一人です。すべては、前を向き、希望を持ち、夢を語り合うことから。  
さあ、素晴らしい自然環境に恵まれた可能性あふれるこのまちで、あなたはどんな夢を描きますか。



子どもと保護者が考える  
都農町がもっと良いまちになるためにこうすればいい!

※都農町ふるさと連携教育に係る意識調査から抜粋（平成23年町内各小中高校で実施）

④子どもたち編(町内小中高校生)



- ・あいさつでまちを明るくする
- ・ゴミを拾う
- ・みんなが優しくなる
- ・みんなが仲良しになる
- ・ボランティアやお年寄りのお手伝いをする
- ・人と人とのつながりを深める
- ・親子のふれあいの場を増やす
- ・子どもが安全に遊べる場所をつくる
- ・人が集まる場所をつくる
- ・都会の要素を取り入れる
- ・大きな企業を呼んでまちをにぎやかにする
- ・都農の良さをPRする
- ・特産品を作る
- ・他のまちのまねでなく、誰も思いつかないようなことをする
- ・町外者が遊びに来たくなるようなものをつくる
- ・若い人たちでイベントをする
- ・商店街を明るくする
- ・今でも十分いいまちだと思う

④保護者編(町内小中高校生の保護者)



- ・子どもも大人も仲良く、気軽にあいさつをする
- ・地域のつながり、協力を深める
- ・人を大切にすること
- ・良い人間づくり
- ・大人が子どもの見本となる
- ・若者とお年寄りのコミュニケーションが必要
- ・みんなで助け合う
- ・シルバーパワーを活用する
- ・都農町を知る
- ・伝統行事を継承する
- ・都農の良さを我が子に話して聞かせる
- ・環境保護や地区行事の参加を
- ・率先して行う
- ・外から新しいものを取り入れたり、若い人の意見を取り入れたりする
- ・高速道路のIC周辺を活性化させる
- ・まちの発展の仕組みを提案する
- ・行政に意見を言う
- ・働く場を増やす
- ・みんなが一体となって活性化に取り組む
- ・私たちも何かすれば変われるのではないかと

引用文献：きみならできる!「夢」は僕らのロケットエンジン  
北海道の小さな町工場が「知恵」と「くふう」で「宇宙開発」に挑む  
植松努、現代書林出版

### 気仙沼おとひめ会 吉田さん&小野寺さん講演

## 私たちの3.11 ~避難所で…地域で…起こったこと~

3月27日、東日本大震災を経験した女性を招いた講演会が中町公民館であった。これは、たわわハートねっと(青木智美代表)が、必要な備えや地域のあり方を考えるきっかけにと行ったもので、約60人が参加。この講演を実現させたきっかけは、子どもたちが書いた被災地へのメッセージだった。

昨年、J A尾鈴が被災地にスイートコーンを送るときに同封した都農町・川南町の小学生が書いたメッセージ。宮城県気仙沼市の避難所でそれを見た吉田千春さんが、小学校にお礼の手紙を送った。子どもが持ち帰ったそのコピーをハートねっと代表の青木さんが見て感激したことから、吉田さんとのつながりが始まった。

吉田さんの近くの小学校は、震災の影響で全校生徒が29人から11人に減った。「何か支援をさせてくださ



い」という青木さんの言葉に、吉田さんは「手作りの温かいものを」と答えた。青木さんは早速、子どもが通う聖愛幼稚園のお母さんたちと、バッグやリュックを作って送ったという。

その後もつながりを深め、吉田さんと小野寺美智子さんは、講演前日に宮崎市で開催された「女性の視点での東日本大震災フォーラム」(みんなのくらしターミナル主催)に青木さんと共にパネラーとして参加した。吉田さんは今年3月、気仙沼おとひめ会を立ち上げ、被災者支援を行なっている。

講演では、家族のもとに帰れない



避難生活の状況などを説明する吉田さん(右)と小野寺さん

遺体がたくさんある現実、震災当日やその後の状況などに触れながら、「避難生活では不安と不満を取り除くことが大切」と説明。懐中電灯、生理用ナプキン、軽いアルミの保温シートの他自分に必要な物を常にバッグに入れておくなど具体的にアドバイスした。また、自宅が全壊し仮設住宅の自治会長を務めているという小野寺さんも、自身の経験を踏まえて女性ができる役割の重要性などについて話をした。

講演のお礼に、ハートねっとが運営する「ふれあいの居場所」利用者が作った千羽鶴が贈られた。

### 町職員を宮城県山元町に派遣

## 災害公営住宅建設に

## 全力を尽くす

Proud! Japan

平成24年4月1日、私は初めて東北の地宮城県山元町を訪れました。東北新幹線で仙台駅、そしてJR常磐線の一部が不通となっているため、途中の駅(隣町の巨理町)から代行バスで山元町役場に着きました。黄色いハンカチが運動会の旗のように役場前に飾ってあり、何ともいえない感情を感じました。

そのまま海岸線へ足を運ぶ途中に見た悲惨な風景はテレビで見ている映像では感じられない「衝動」を感じずにはいられません。それは、海岸線にあったであろう松林がすかさずなくなり、お店や家屋があったであろう場所がまるで空爆を受け焼け野原になったような風景が辺り一面に広がっていたからです。山元町は現在、人口約1万4000人の町で、面積は都農町

のおよそ半分、約64平方キロメートルの広さです。その面積のうちおよそ4割(約24平方キロメートル)が東日本大震災の津波で浸水した状況です。町民は、町内11カ所の仮設住宅に約2700人が入居し日々を暮らしているのが現状です。

赴任当初、まず殉職された同町職員4人に黙とうが行われました。この方々は、住民周知のために巡回していたときに被災されたのです。公務を全うした姿勢は、公助の精神とはいえ、胸の詰まる思いです。他にも、奥さまや身内を亡くされた職員が多数おり、それでもそれをさておき、災害対応にあたられたと聞き、公務員像を考えさせられました。

この歳になっても毎日が勉強です。見知らぬ東北の地で、すべての方々が初対面で、経験したことのない震災復興事業に取り組んでいくことは、とてもプレッシャーを感じます。時間に猶予のない現状で失われた財産をどのようにして復興させるのか、住民意向と行政がバランスを取って進めていくことが課題です。しかし、議論する時間がいつまでもあるわけではなく、復興を急がなければなりません。



(右) 中浜小学校の体育館 (上) 駅舎もろとも流出した坂元駅 (下) 中浜小学校には屋上まで津波が襲来した



日高 太さん

【profile】昭和42年明田生まれ。平成2年4月宮崎市役所入庁。退職後、10年都農町役場入庁。建設課などを経て、24年4月から1年間、宮城県山元町震災復興整備課に派遣。

## 被災地の牛を都農で育てる

黒木 晶樹さん(47歳 長野)

2年前の口蹄疫被害でつらい思いを経験した本町。それだけに、被災地の農家の力になりたいと宮城県から牛を購入し、大切に育てている黒木晶樹さん取材した。

口蹄疫発生前、黒木晶樹さんは70頭の牛を飼っていた。平成22年6月、ワクチン接種後の殺処分では牛はゼロに。再び飼い始めたのは本年1月。約1年7カ月ぶりに戻った「本来の生活」。再び日々の生活に光が差し始めた。

「被災地と同じ牛を飼う農家を元気づけたい」という強い思いから、本年4月、宮城県の牛を導入した。最近生産者と電話で話すことができ、「大切に育てる」と伝えたという。この牛



\*種牛候補となる牛の基礎となる牛

は県の指定を受け、た種雄牛造成用の雌子牛。「種牛になれるのはほんの握りの牛

だけ。評価が出るまで長い年月もかかる。でも、可能性があるだけでも夢を持って牛飼いができる」と晶樹さん。消毒は徹底している。牛舎に入るまでに消毒槽は3カ所。噴霧式の消毒液を浴びながら入り口を通過し、木酢で手を洗おうやく牛の元へ。朝晩、牛、牛舎、路上への消毒も欠かさない。「人によって防疫対策への温度差があるのが事実。まず自分たち生産者がきちんとすべきことをしていないと、県に対して意見なんて言えない」。4月から尾鈴肉用繁殖牛部会長を務める晶樹さん。今後、生産者の意識向上も図っていきたくて意欲をみせる。

現在、親牛10頭、4月に口蹄疫後初の出産があった。「まだまだ復興の途中。元の規模に戻せるよう頑張りたい」。晶樹さんは、夢を持ちながら前を見据えている。

環境

大量の草が漁港に！  
刈った草は川へ流れないように！

問 産業振興課 25-5721

草刈り機などで刈った草が、水路や川などに流れ込んでいます。先日は、漁港内に流れ込み、漁協職員たちがすくい上げました。漁船機器などの故障の原因となり、補償問題にもなりかねませんので、絶対にやめてください。



漁港に流れ込んだ大量の草

人事

公平委員  
信好さんから濱渦さんに

問 議会事務局 25-5718

4期16年間公平委員を務めた黒木信好さんの後任として、濱渦靖浩さん（松原）が平成24年5月1日付けで選任されました。任期は同28年4月30日までです。また、黒木亨さん（同16年5月から委員）が再任されました。公平委員会は、町職員の勤務条件に関する措置の要求を審査・判定し必要な措置を行い、不服申し立てに対し裁決または決定を行う機関です。なお、4月30日で退任した信好さん



右から、濱渦さん、亨さん、信好さん

に、感謝状が贈られました。

人事

農業委員  
三輪さん・隆吉さんから真樹さん・上野さんに

問 農業委員会 25-5720

農協から選出されていた三輪篤志さんの後任として、黒木真樹さん（寺迫）が5月1日付けで、また農業共済から選出されていた河野隆吉さんの後任として、上野増雄さん（心見）が6月1日付けで農業委員に選任されました。



選任された上野さん(左)と真樹さん

真樹さんの担当地区は藤見と坂の上、上野さんが駅通・中町・北町・南新町・北新町・平山です。

スクールガード  
久永さんから赤木さんに

問 教育総務課 25-5723

県学校巡回指導員（スクールガード）を務めていた久永明美さんの後任として、赤木清公さん（福原尾）が委嘱されました。任期は、平成24年4月から1年間です。赤木さんは、町内の各小学校で登下校の指導やパトロールを通して子どもたちの安全を見守っています。



委嘱された赤木さん

募集

都農町職員採用試験  
やる気のある人大募集

問 総務課 総務係 25-5710

都農町では、平成25年4月1日から採用する職員を募集します。あなたの力を都農町のまちづくりに生かしてみませんか。やる気のある人のご応募をお待ちしています。

■試験会場 高鍋高校  
■試験区分 ①一般事務 若干名  
②看護師 若干名  
③薬剤師 1人  
詳細は、7月上旬以降にホームページで、また、それ以降に週報でお知らせします。

■一次試験日 9月中旬予定  
※県下統一試験

環境

廃棄物減量化推進員に委嘱状  
ごみ減量にご協力を

問 住民課 生活環境係 25-5713

町廃棄物減量化推進員の委嘱状交付式を4月11日に行い、各地区から推薦された63人に町から委嘱状を交付しました。家庭や事業所から排出されるごみの量が年々増加し、ごみの種類も多様化しています。推進員は、各地区のごみ集積所などで正しいごみの分別、出し方の指導を行います。皆さまのご協力をお願いします。



委嘱状交付式で説明を受ける推進員

年金

国民年金保険料の  
納付期限が延長されます

問 高鍋年金事務所 23-5111

国民年金制度は、20歳から60歳に到達するまでの40年の間に国民年金保険料を納めることで、満額の老齢基礎年金を受給することができる制度です。しかしながら、保険料を納められなかった期間がある場合や資格取得などの届け出忘れによって国民年金の資格期間がない場合には、将来の年金が少なくなったり、年金そのものが受給できなくなってしまうことがあります（保険料納付や免除などの合計が25年未満の場合）。

まずは、8月以降に日本年金機構から郵送されるお知らせで自分の年金記録をご確認ください。なお、過去10年間の保険料を納付するためには、事前の申し込みと審査が必要になります。詳しくはお近くの年金事務所にお問い合わせください。 ※注：納付期限が延長できる期間は、平成24年10月1日から27年9月30日までの3年間です。審査の結果、後納納付をご利用できない場合がありますのでご注意ください。

■免除制度があります

問 福祉課国保年金係 25-5714

このような事態を避けるために、昨年法律が改正され、国民年金保険料を納めることができる期間を過去2年から10年に延長することになりました。具体的には、平成14年10月以降の納められなかった保険料を増やしたり、年金の受給権につなげることができるようになります。 ※注：ただし、既に老齢基礎年金の受給権をお持ちの人は、納めることができないのでご注意ください。

所得が少ないなど、保険料を納めることが経済的に困難な場合には、本人の申請によって、保険料の納付が免除（全額免除）、または一部免除（4分の3免除・半額免除・4分の1免除）される制度があります。 お問い合わせください。



1.「やったー！」お見事！ 2.今日はお父さんが先生 3.「お母さん喜びかな」 4.多くの人が釣りがお手を手に川遊びを楽しんだ 5.親たちも子ども心を思い出したかのように夢中に 6.小さい子どもも浅いところで思う存分水遊びを楽しんでいた



名貫川淡水漁業協同組合  
組合長 山口 安彦さん  
「行政、町民、協賛者、組合の皆さんといういろいろな人たちの協力のおかげでここまでできました。長い間ありがとうございました」

参加者 山末 坂元 翔晴くん 心優ちゃん 千隼くん  
「釣りは初めて。お父さんがつかみ取りで2匹取ってくれてうれしかったです。楽しかったから、またみんなで釣りに来たいです」

# 「ほら見て！捕まえたよ〜!!」 名貫川で最後のふれあい釣り大会

全長21km。源流を尾鈴山に持つ本町最大の河川、名貫川。この下流で、5月6日、名貫川淡水漁業協同組合(山口安彦組合長 46人)主催の第20回清流と自然の恵みとのふれあい釣り大会が行われました。

晴天に恵まれたこの日、町内外から家族連れなど約3000人が参加。放流されたニジマス4000匹を目当てに釣り糸を垂らしました。お父さんが子どもに釣り方を教えたり、おじいちゃんや作った竹のさおで一緒に楽しんでんだり会場は和やかな雰囲気になりました。

10時からつかみ取り。岩の下に潜むニジマスをとるか捕まえようと、大人も子どもも夢中になり、全身で水に浸かっています。

同組合の「子どもたちがこの素晴らしい名貫川に触れ、川の楽しさを知ってほしい」という思いで始められたこの催しですが、予算的な運営の厳しさや組合員の高齢化などのために、惜しまれつつも今年で最後になります。

25年前から同組合長を務める山口安彦さんは、「気候に左右されるため準備などはいつも大変でした。増水で流され、全部やり直したことも。しかし、子どもたちの喜ぶ姿を見るとやはりうれしく、やりがいがありました」と話していました。

今回の参加費から10万円が、日本赤十字社を通じ、東日本大震災のために寄付されました。

## 3/25 ゴールを目指せ! 都農ワインカップ



第9回都農ワインカップ(都農enjocsスポーツクラブ主催)が、藤見運動公園で開催され、キッズサッカー、小学生フットサルや初開催の女子フットサルなど5部門に、町内外から45チーム約400人が参加しました。

参加者 明田 河野 幸子さん 斗真くん 拓斗くん 慶斗くん  
「女子チームで初大会。緊張したけど楽しかったです。家族みんなで参加できるこの大会はとて素晴らしい機会だと思います」

## 4/8 桜と過ごす春の日 花まつり



不動公園で、毎年恒例の花まつり(同実行委員会主催)が開かれ、町内外から家族連れなど多くの人が訪れました。町文化協会による特設ステージでの演芸大会では、会員らが舞踊、太鼓、カラオケなど、日頃の練習の成果を發揮し、会場に花を添えていました。

都農町キャラクター つのびよん  
「日本晴れて不動公園の約300本の桜が満開/たくさんの人たちとふれあえて、とて楽しくかつたびよん」

## 4/20 あの日々を忘れない 口蹄疫から2年で献花



平成22年、宮崎県に大きな被害をもたらした口蹄疫。本町で第1例目を確認されてから2年が経ったこの日、被害を風化させないために、牧神社で畜魂碑に献花を行いました。

尾鈴肉用繁殖牛部会 会長 黒木 晶樹さん  
「課題は復興率を上げていくこと。この2年が勝負だと思っています。地域域の活性化のために畜産業を盛り上げていきたいです」

## 4/23 地域で見守ってるよ 母の会が交通安全教室



地域婦人連絡協議会、商工会・農協・漁協・更生保護各女性部の5団体から成る交通安全母の会(三輪齊子会長)が、聖愛幼稚園(黒木孝志園長34人)で交通安全教室を開催しました。

三日月原 又川 勇翔くん(5)  
「おまわりさんの話はよく分かりました。今日は、バトカーに乗れてうれしかったです。交通安全教室は大事にしようと思います」

## 4/29 大自然を一步一步 尾鈴山開き登山



尾鈴山フェスティバル実行委員会(岩本重喜会長)主催の尾鈴山開き登山が開催され、町内外から約1500人が参加しました。

参加者 北九州市 吉岐 勝さん  
「初めて参加。山にはよく登りますが、結構きついコースです。結構疲れましたが、とてもいい山。花も満開できていい一日でした」

5/8 地域の宝を守りたい  
南小で南風パトロールなど紹介



日頃から、子どもたちのために活動している組織などの紹介が都農南小(中村俊明校長257人)でありました。

紹介されたのは、登下校時に交通指導やあいさつ運動を行う南風パトロール(寺原正徳会長)、高鍋警察署委託の自主防犯パトロールブルーアウル(三輪隆之会長)、学校巡回指導員(スクールガード)の赤木清公さんと町青少年育成町民会議会長の松尾隆文さん。



南風パトロール 会長 寺原 正徳さん  
「地域に恩返ししたい、子どもたちの命を守りたいと毎日通学路に立ち始めて7年目、これから子どもたちを見守ってまいります」

5/8~6/8 アートの力で支援を  
農家を励ます支援絵画展



都農絵画教室(大上敏男先生)と日高版画教室(日高邦男先生)が、宮崎銀行都農支店と町民図書館で「農家を励ます支援絵画展」を開催しました。

これは、口蹄疫被害で大きな苦しみを経験した人たちの癒しや励ましになればと、まず県立美術館で開催されたもので、都農町では、牛を愛でる農家を描いた絵や祈りを表現した版画などの作品が展示されました。訪れた人たちは、足を止め、二つ一つの作品に見入っていました。



版画教室講師 日高 邦男さん  
「農家の人たちのつらかった思いを忘れないために開催。たくさんの人たちに見に来ていただき、こちらが慰められた気がします」

5/11 平和への誓い新たに  
都農小三先生を偲ぶ会



昭和20年に学校で殉職した黒木君子先生、三輪百代先生、長友ナミエ先生を偲ぶ会が、都農小(黒田好晴校長246人)でありました。

スクリーンで説明しながら、学校が襲撃を受けた様子を6年生が劇で発表しました。また、河野通継さん(岩山)が、姉都市である沖縄県糸満市との関係にも触れながら、一瞬にして「悲しみの日」となった当時の様子を語りました。慰霊碑に献花も行い、児童たちは、平和への思いを新たにしていました。



作文発表者 上瓜生 河野寿々花さん  
「戦争は二度としてはいけない、世界中の人が仲良く交流したら戦争にならないのでは大切な命を惜まらなければいけません」

5/29 子どもにワクワクを  
山本さん紙芝居15年



子どもたちに紙芝居を伝え続けている山本スミ子さん(85歳)のボランティア活動が15年になろうとしています。

山本さんは、町内4小学校の他、木城町、高鍋町、川南町など、週に2、3回学校を訪れ紙芝居を披露しています。この日は内野々分校。紙芝居に見入っていた子どもたちは、「山本さんは顔を見ながら読んでくれて良かった」「読んでくれないお話だったから工夫していると良かった」など、積極的に意見や感想を発表していました。



山本スミ子さん  
「1月に夫が亡くなった後、落ち込んでいたときに、子どもたちとの時間を支えられました。ずっと続けたいです」

5/31 危険を知って備える  
災害危険箇所現地調査検討会



土砂災害の危険性が高くなる梅雨入りを前に、高鍋警察署や東児湯消防組合など関係機関が参加して災害危険箇所の調査検討会を行いました。

まず、土砂災害防止講座として、県砂防ボランティア協会から講師を招き、土石流、がけ崩れなどの映像を見ながら、災害発生前の予兆などの説明を受けました。その後、町内にある45の災害危険箇所(河川3急傾斜地23土石流16ため池2海岸1)のうち13カ所で、整備が必要な箇所などを確認しました。



都農町消防団 団長 岡田 和巳さん  
「防災意識が高まっています。消防団も雨季前に地元での危険箇所を把握・点検し、有事の際に対応できるように訓練を行います」

12年ぶりの誘致企業  
町とサンアグリフーズ(株)が立地協定



企業立地調印式  
6月1日、町とサンアグリフーズ(株)(磯部辰則代表取締役)の立地協定調印式を役場で行いました

同社は、名貴多目的広場北側に農畜産物の加工施設を設立する予定です。

町内の誘致企業は、12年ぶり。雇用、契約農家の所得向上など地域貢献に期待がかかります。

調印式で、磯部代表取締役は「都農進出には河野町長の強い要望がありました。復興の一つのきっかけになれば。既存農家の皆さんと一緒に頑張っていきたいです」と話していました。

- 同加工施設の概要は次のとおりです。
  - 事業内容 農産物加工製造施設
  - 操業計画 着工 平成24年7月
  - 従業員数 平成24年度 新規雇用14人 同25年度…新規雇用5人
- ※5年後までに30人の雇用を予定。募集は、12月ごろからハローワークなどを通して行います。

道づくりを考える女性の会  
高速建設現場を視察



問 建設課 25-5717

5月28日、道づくりを考える都農女性の会(吉川辰子会長)の9人が、東九州自動車道の建設現場を視察しました。この日は、同宮崎中央女性の会(坂佳代子会長)からも16人が参加。建設中の都農インターチェンジや、世界初のパタフライウェブ工法を使った田久保川橋(日向市美々津)で、NEXCO西日本延岡工事事務所長などから説明を受けました。

吉川会長は、「工事はずいぶん進んでいました。中央女性の会との交流もできたので、今後いろいろな協力もいただきながら、開通に向けた行事の準備を進めていきたい」と話していました。

都農～高鍋間(13km)は、本年度内の開通を目指しています。

【道づくりを考える都農女性の会】町内の、婦人会、商工会・農協・漁協の各女性部、更正保護女性会の5団体から構成される。東九州自動車道の早期開通を目指して、各種促進・決起大会や提言活動などを行っている。本年は、開通記念事業や「道づくりを考える女性の会交流会」の都農町開催など多数の活動が予定されている。

立野に待望の水道施設  
さらなる地域活性化に期待



問 水道課 25-5726

水道施設が未整備だった立野地区で、整備が完成し、5月12日に地区内で落成式がありました。

これまで、ほとんどの住民が山から簡易水道で引いてきた水を利用していましたが、今回の整備で安心して飲める生活用水が供給されるようになりました。ウォーキングコースに多くの来場者がある同地区ですが、農産物の加工品などの販売も可能になりました。

同地区水道組合の黒木武組合長は、「長年水には苦労してきましたが、やっとこの日を迎えることができました。今後は水を生かした立野の加工品を作るなど地区で何かできればと思っています」と話していました。

# 健やかに生きる！ ロコモティブシンドローム (ロコモ)とは？

いつまでも元気に生き生きと過ごすための取り組みの一つ、「ロコモ（介護予防事業）」を紹介します。

「なぜ今、介護予防が必要なのか」

日本人の平均寿命は83歳で世界一位です。また、健康寿命(健康で生活できる寿命)も平均76歳で世界一です。しかしこれは、長生きはしているけれど、そのうちの約6〜8年は日常生活に何らかの支障があり介護が必要な状態であるという結果になります。

健康寿命を延ばしていくためには、早くから予防することが大事です。そこで今回、本町で行っている介護予防の一つ、自宅でできるロコモコール事業に関連して、事業を一緒に行っている宮崎大学の帖佐悦男教授にお話を伺いました。

\*1 世界保健機関2011年。  
\*2 同 2010年。

自立した生活を阻害する要因の一つ、運動器の障害は平均寿命の延びに伴い増加しています。この障害を何とかすることで介護を受けずに健やかに生きたいですね。

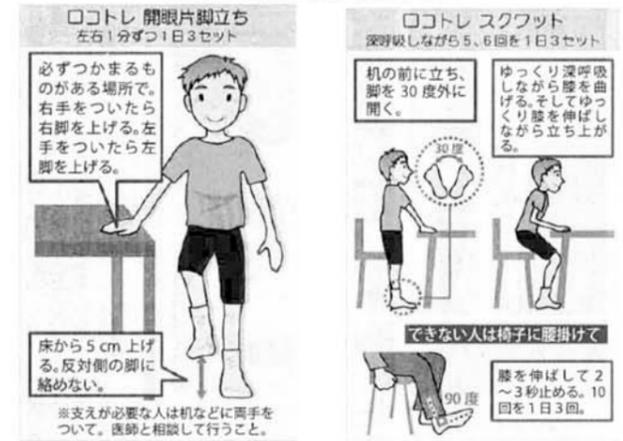
## Q5 ロコモ予防はなぜ必要？

A 関節炎(関節に水がたまる、痛い、変形している)を放置すると特に足腰の場合、歩けなくなり寝たきりになる可能性があるため、ロコモの予防や治療が必要になります。「変形性膝関節症、骨粗鬆症や腰部脊柱管狭窄症」などと診断され、病院で治療を受けている人も多いと思います。一方、ロコモは知らないうちに(ひそかに)忍び寄ってきますので予防も大切になります。もし、ロコモが疑われた場合は、ロコモになったり悪化したりしないように整形外科専門医の診察を受けてください。

## Q6 自分でできる予防方法は？

A ロコモ体操・ロコトレ(ロコモーショントレーニング)(図2)や軽いスポーツ(ウォーキング、水泳、卓球、太極拳など)をしましょう。しかし、運動器が障害されている場合、不適切な運動やスポーツを実施することで逆に悪化します。運動器障害が疑われた場合、運動器の状態をチェックして適切な予防法や治療法を整形外科医に相談しましょう。

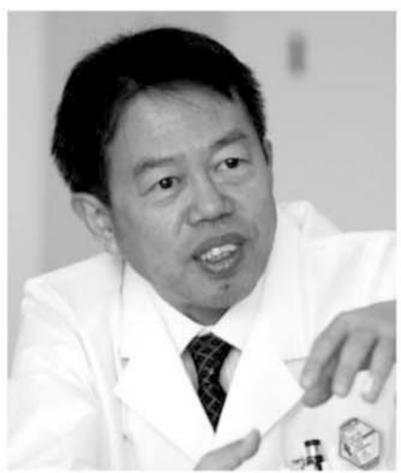
### ロコモ体操の基本



## 都農町の皆さんへ

お元気ですか。自分の足腰は大丈夫と思っていないですか。知らないうちにロコモは忍び寄ってきます。健やかに老いるため、自分で足腰(運動器)を鍛え、介護や支援を受けないようにしましょう。(帖佐 悦男)

## あのロコトレで有名な 宮大帖佐教授に話を伺いました



宮崎大学医学部整形外科  
ちよう き えつ お  
帖佐 悦男 教授

【プロフィール】宮崎市生まれ。大分医科大学卒。宮崎大医学部附属病院副院長兼務。日本整形外科学会専門医。NHK教育テレビ「名医にQ」などに出演。著書に「ロコモティブシンドローム」「ロコモティブシンドローム診療ガイド」など。52歳。

## Q3 私はロコモでは？

A ロコモに自分で気付くための道具であるロコチェックを紹介します(表1)。一つでも該当すればロコモが疑われますので整形外科専門医または福祉課介護保険係りへ相談してください。

表1 **ロコチェック**

- 1) 片脚立ちで靴下がはけない
- 2) 家の中でつまずいたり滑ったりする
- 3) 階段を上るのに手すりが必要である
- 4) 横断歩道を青信号で渡りきれない
- 5) 15分くらい続けて歩けない
- 6) 2kg程度(1リットルの牛乳パック2個程度)の買い物をして持ち帰るのが困難である
- 7) 家の中のやや重い仕事(掃除機の使用、布団の上げ下ろしなど)が困難である

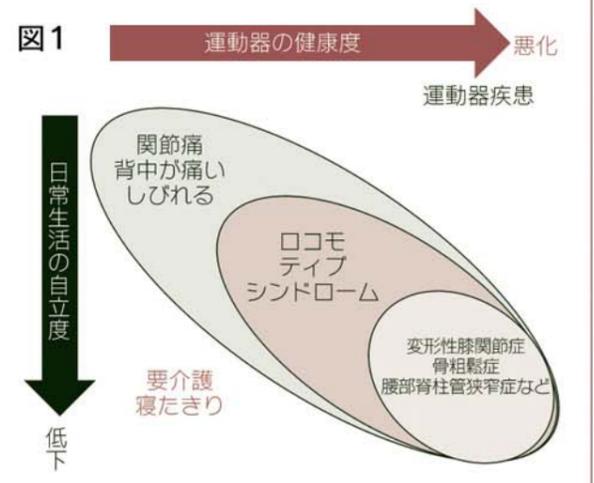
一つでもあった人は、ロコトレをしましょう！

## Q1 「運動器」ってどの部分？

A 運動器とは、骨・関節・筋や神経など、身体を動かす器官のことです。

## Q2 ロコモとは？

A 運動器が障害されることにより、介護が必要な状態や介護になる可能性が高い状態を表す新しい言葉のことです。(図1)



今回は、都農町ロコモコール事業についてご紹介します。お楽しみに!!

## 介護に関するお問い合わせは— お気軽にご相談ください



福祉課 介護保険係 ☎25-5714  
地域包括支援センター ☎25-5722

## 帖佐先生講演会決定！

日時：7月25日(水) 午後1時30分～3時  
場所：塩月記念館  
講師：宮崎大学医学部整形外科 帖佐 悦男 教授  
題名：あなたは介護を受けないと思っていないですか。  
—ロコモティブシンドローム(ロコモ)を予防しよう!—

## Q4 ロコモを予防するには？

A 町内で実施されている介護予防教室など\*3にまず参加しましょう/時間がない人は、家でもできる「ロコモコール事業」への参加をおすすめします。

- \*3 町内で実施されている4つの介護予防事業
- ・通所型介護予防事業(ふれあいセンター)
  - ・ロコモコール事業(自宅)
  - ・ふれあいサロン(ふれあいセンター)
  - ・ふれあい・いきいきサロン(各地区サロン; 地区の公民館など)

# 都農町地域福祉

## 総合計画完成

問 福祉課社会福祉係 25-5714



平成22年度から、23年度にかけて取り組んできた「地域福祉総合計画」が完成しました。

この計画は、町民、事業者、社会福祉協議会、行政がそれぞれの役割を分担し、誰もが地域で互いに支え合いながら自立し、社会参加できる地域社会をつくりたいというものです。

東日本大震災後は、自助・共助の役割、地域福祉の重要性がさらに高まることとなりました。また最近、孤独死の増加などで隣近所との関係の重要性が再認識されています。住んでいる地域で、共に生き、支え合う社会の仕組みを考えていくことが必要です。

この計画をつくるために行った、町民アンケート、各地区座談会、一般公募した委員によるワーキング委員会、策定委員会にはたくさんの方に参加していただきました。それらを通して、本町の地

域福祉の理念、基本目標、施策を策定しました。ご協力ありがとうございました。今後は、この計画の理念「みんなで支え合い・安心して暮らせるまち」の目標として、皆さんと一緒に地域福祉に取り組みしていきます。計画は、平成22年度から26年度までの5カ年計画です。随時評価し、必要に応じて見直しをしていきます。

### 地域支え合いマップづくり

本年度は、「地域支え合いマップづくり」に取り組みします。これは、各地域で住民による支え合いや災害時の避難支援に結びつけることを目的に行うものです。福祉課、社会福祉協議会、防災を担当する総務課と連携して取り組みます。

このマップづくりでは、まず地域ごと

### 愛寿園を福祉避難所に指定

災害時要援護者（高齢者や障がい者など）避難所生活で何らかの特別な配慮を必要とする人（避難施設として、老人ホーム愛寿園を福祉避難所（要援護者に対して特別な配慮をする避難所）に指定しました。今後、防災物資の備蓄などをしていきます。

に隣近所で集まってもらいます。

どこにどのような人が住んでいるか、高齢者など要援護者はいるか、近所でのように助け合っているかなどを住民がまず把握します。この活動から、災害時だけでなく、日常の助け合いの問題点なども見えてきます。

災害に備えるため、またご近所福祉活動（地域の中で、住民同士がお互いに福祉問題について考え、解決していくという活動）や要援護者の支援などにつなげることをマップづくりの目標としています。

今後、マップづくりの講演会や研修会などを実施していきます。また、地域ごとのマップづくりの支援も行っていきます。

皆さん、ぜひこのマップづくりに参加してください。まずは、下記の講演会にぜひお越しください。

## 町立病院健康だより



都農町国民健康保険病院 立野 進 院長

【profile】  
宮崎市生まれ。昭和49年鹿児島大学医学部卒業後、開学したばかりの宮崎医科大学第一外科に入局。大学病院、古賀病院、藤元病院（都城市）、県立宮崎病院などで勤務。平成9年4月から都農町国民健康保険病院院長。宮崎県国保診療施設連絡協議会副会長。西都児湯メディカルコントロール協議会会長など。趣味は、スポーツ全般（近頃は体がいうことをきかない）、お笑い、音楽何でも。

現在、日本人の死亡原因の第1位はがんであることは皆さんご存知のことと思います。昭和56年から、それまでの1位だった脳卒中にとってかわりました。最終的に日本人の3人に1人はがんで亡くなる時代です。

そもそもがんとは、自分自身の正常な細胞が遺伝子の変化によってむやみやたらに増殖する反乱軍となり、周囲の組織にかみついたり、遠くの臓器に転移したりして正常な機能を破壊し、最悪命を奪ってしまうやっかいな病気です。いろいろな治療法や有効な薬が次々に開発され、一時期の「死の病」というイメージは若干改善されていますが、やはり早期発見、早期治療に優るものはありません。

私自身を含め、「自分にはがんにはならない」となんとなく考えてはいませんか？ある年齢以上になったら各種の

### 今月のテーマ

## がん

検診を受けることをお勧めします。

ところで、がんの中で死亡者が一番多いがんは何でしょう？男女とも肺がんなのです。がんに罹った人の数は男性は胃がん、肺がんの順、女性では乳がん、胃がんの順で肺がんは4番目です。にもかかわらず肺がんの死亡が多いということは治りにくいがんということになります。タバコと肺がんの関係は男性ではかなり確かなようです。

昨年から今年にかけて、都農町のこの素晴らしい空気の中に住んでおられる方の中にも肺がんの診断がついたり、肺がんで亡くなられた方が目に付きました。男性患者さんは喫煙者が圧倒的でした。タバコは肺がんだけでなく、呼吸器疾患、心疾患の原因にもなりますし、一緒に暮らしておられる方の健康にも影響を及ぼします。一度禁煙について考えてみてください。

## 歯医者さんからのアドバイス

### 今月のテーマ

## まず三歳まで虫歯をつくらない！を目標に

6カ月前後で上下の前歯が出てきます。歯があれば虫歯菌が定着する場所ができますので、虫歯に注意が必要になります。また、虫歯菌は砂糖が大好きですので、子どもをできるだけ「砂糖」から遠ざける必要があります。

ジュースやイオン飲料水、スポーツ飲料水、お菓子は砂糖が多く含まれていますので注意してください。3歳までに味覚の好みが決まります。離乳食にもできるだけ砂糖は使わず自然の食材のおいしさを体験させてください。親は自分の子どもを絶対に「甘党」にしない決意で頑張ってくださいね。

赤ちゃんが母乳をしっかり飲むことは、お母さんの乳首を頑張ることで吸うこととなります。頬や口の周りの筋肉や骨格の健全な成長に欠かすことのできない大切な運動となります。

また、3歳までの指しゃぶりは心配はいりませんが、その後も指しゃぶりが続くと歯並びや顎の成長に悪い影響を与える場合があります。子どもの生活のリズムを整え、外遊びや運動をさせてエネルギーを十分に発散させたり、手や口を使う機会を増やすようにします。スキンシップを図るために、例えば寝付くまでの間、子どもの手を握ったり、絵本を読んであげたりして安心させるように工夫してみてください。

虫歯の予防や原因をお母さんだけに押し付けるわけにはいきません。家族全員で、大人がしっかり歯磨きをしている姿を子どもに見せてあげてください。子どもは歯の大切さを直に感じとります。これ以上の歯磨き教育はありません。



黒木康夫歯科医院 黒木 康夫 院長

【profile】  
宮崎市生まれ。昭和63年3月中町に歯科医院開業。西都児湯歯科医師会副会長。宮崎県歯科医師会常務理事。趣味は、学生時代はワンダーフォーゲルに所属。九州の山々や北アルプスの登山歴あり。久住や霧島の山々、もちろん尾鈴山がフィールドです。

## 都農町地域福祉 講演会

日時：7/7(土) 時間未定  
場所：塩月記念館  
内容：「災害にも強い地域のつながりを(仮称)」  
【一部】講演『地域支え合いマップ』（仮）  
講師 木原 孝久氏  
【二部】講演『地域防災』  
講師 未定(防災関係専門家)  
【三部】事例発表  
岩山地区 一木 正樹氏



福祉問題コンサルタント 木原 孝久 氏

【profile】30数年にわたり住民の福祉のあり方を追い求め、月刊誌「住民福祉」や福祉関連マニュアルを発行のほか、研究会やセミナー開催。平成6年、「支え合いマップ」を立案、以来全国に普及させている。同マップを活用した地域福祉計画づくりや支え合いのまちづくりも開発し、全国各地を講演。主な著書に「住民福祉の起りこし」「福祉の人間学入門」「助けられ上手さん」など。

※詳細は決まり次第週報などでお知らせします

青木智美の  
てんやわんや日記



**青木 智美さん**  
【Profile】佐土原町生まれ。宮崎女子短期大学を卒業後、4年間幼稚園に勤務。平成12年、結婚を機に都農町へ。獣医師（あおき動物病院院長）の夫、長女（小6）、長男（小3）、二男（5歳）、三男（2歳）の6人家族とチワワ。趣味はクラリネット。町教育委員。たわわハートねっと代表。36歳。

4人の子どもたち相手に奮闘している母親の子育て日記。よろしかったら読んでみてくださいね。

5月といえば、やっぱりこいのぼりです。我が家の子ども（特に下2人の子）は、こいのぼりがとっても好き。毎年子どもの日もとくに過ぎて、こいのぼりをしまおうとする。「なんで、しまおうの?!」「今度はいつあげるの?!」と泣いて怒るほど大好きです。

初節句を迎えるお宅でしょうか、ちまたでは4月に入るとすぐこいのぼりが悠々と泳ぎはじめます。それを見るたび子どもから「うちはいつあげるのか」と質問攻めにあいます。

スパーやよそのお宅などに飾られるこいのぼりをみると、とっても興奮しながら、辺り構わず大きな声で何匹いるか数えます。

今年、家のこいのぼりの竹のさおが傷んでいたんで、知り合いの方から長〜い竹を切りだしていただいて、都農ふれあいの居場所の常連さん方にも軽トラで運搬・さお立てをお手伝いしていただきました。（皆さまありがとうございます！）

次の日からはおじいちゃんが

度は鉄筋コンクリートですから波が荒れても壊れません。順調に工事が進んでいると思つたのですが、予期せぬことに、南堤防の内側の船溜に砂が積もり、海が浅くなり、また一方で北の明田下の砂浜が削られるということが起こつたのです。

原因として考えられるのは、砂は明田下から港に流れ、南の磯を経て沖に出て再び明田下に帰つていたので、防波堤ができて途中を断切したためと考えられます。北防波堤はそれを防ぐために作つたのですが、砂との戦いは現在も続いています。



古川ただしの  
都農の昔のあれやこれや



**古川 ただしさん**  
【Profile】大正12年湯の本生まれ。旭化成入社後は、国内外で勤務。都農町史編さんの際に調査・執筆に携わる。趣味は、俳句・短歌（横好きの城 ※本人談）。三日月原在住。

明治になると、大阪商船が大阪〜鹿児島間の定期航路を開設し日向灘を運行するようになりまし。しかし都農は県の中央に位置し豊富な農林水産物を産出するにもかかわらず、港がないために沖を通る汽船の煙を空しく見送るほかなかつたと当時を回想した文章の中にあります。

そのうちに、大正十年（一九二二）には都農駅ができ、十二年末には日豊線が全線開通し、物資・旅客は船を使わずに汽車を利用するようになりまし。

都農町に築港工事の許可が下りたのは昭和七年です。その頃、日豊線ができるまで港町で繁栄していた隣の美々津は、物資移送が汽車に奪われたため町は衰微の一途をたどっていました。しかし都農はそんな時運より、江戸時代から待ち望んだ夢が実現できることの方が大きく映つたのでないかと思ひます。

夢を抱いてかかった工事は、文久年間に壊れた波止の上をなぞるように堤防を築いていきました。今



昭和8年、防波堤工事（セメント作業）の様子

町史編さんに携わった中から、都農町のあれやこれやを少しずつ紹介していきますね。

～都農の港(2) 昭和の築港～

日高邦男の  
とっておきの話



**日高 邦男さん 版画家**  
【Profile】版画を始めて46年。入選・入賞多数。NKK文化センター講師や都農高校美術非常勤講師など指導経験も多い。町文化協会副会長、都農カラオケ愛好会長、大道芸&マジック、将棋三段、日高歌謡教室師範など活躍の場も広い。趣味はギター、エレキギター、床屋さん。北新町。72歳。

70年余りも生きていますと、いろいろなことにぶつかるものですね。その中から、私なりのとっておきの話を…。

私は最近、自分が男のくせに異常なほど、臆病な事に気付いた。深夜の暗闇、夜の墓場、怪談：等々枚挙にいとまがない。そんな私が事もあるうに深夜、K工務店から遠く離れた寂しい一軒家の倉庫で独り、彫版を済ませた後の漆入れに没頭していた。

平成元年を記念して同工務店が都農神社表参道の大鳥居を寄贈する事になり、50年に一度とも言われる建て替えで鳥居に掲げる額文字の、彫りと漆を入れる大役が私に回ってきたのだ。一緒に来てくれた妻は、「眠い…」と言って早々と帰ってしまった。すると、妻が帰り際に言った「一人で怖くない？」の一言が妙に気になり始めた。闇に包まれた夜中の一軒家、入口の戸は開いたままで、時折きしむ得体の知れない物音…。平成元年の夏祭りは、私にとって忘れられない怖くてうれしい年となった。

もつと怖い話を思い出した。隣の友人Nさんから結婚式の招待状を木版で創ってほしい…との依頼が来た。木版の招待状は未経験の

仕事でもあり二つ返事でお受けした。文字の彫版は大変だったが根気さえあれば出来る事だ…でも、摺りは気の遠くなるほど大変な事だった。締め切りも近い…困り果てた私は、以前、保育園に版画の指導に行つた際に使つたプレス機を思い出して、すぐ園長で住職でもあるFさんにお願ひして園児の居ない夜間を利用する事になった。

今回も同行した妻が夜中にまた、「眠いから帰る」と言い出した。ギョツとする私。今回は隣が墓場なのだ…でも、男の私にもプライドがある。「そうか」と平然と装う…。やがて、草木も眠る丑三つ刻（午前2時頃）だった…暗い窓から誰かがぞうているような嫌な気がして恐る恐る墓場に面した窓に目を向けた。私は心臓が凍りつくほど驚いた。そこには恐ろしい顔をした人相の悪い男がこちらを凝視している…窓に映つた自分の姿だった。

極めつけは3年前、版画講座を終えた私は、中央公民館の2階から落ちて右手肘関節を骨折した。やはり、私はいかんが怖い！

**Teal's Tea Time**

Teal Mie Imada (ティール ミエ イマダ)  
【Profile】ハワイ出身の日系4世。日本生活8年。平成22年4月から都農町のALT。食べることや旅行が好き。駅前。

Hello! How are you? Today I decided to write the article and my sidekick, Happy, is taking a break. As I write this, she is lounging out on the deck getting a suntan. I want to talk about the differences between American schools and Japanese schools. To this day, I have taught elementary thru high school. Boy how different it is from America! When I first came to Japan, the biggest thing that surprised me was how clean the schools were and the fact that they were cleaned by the students and teachers themselves. In America, we have custodians or "misbehaved" students cleaning the classes and grounds. Custodians are paid to clean and fix the schools and when students are late or miss class in high school, they have "detention". That is when they have to stay afterschool or go in on the weekend to clean the school under the supervision of someone. Another event that took me by surprise is the Sports Festivals. I am often asked if we have Sports Festivals in America and the answer is we don't. I am very moved by how hard the students work for this day and how everyone is united. In America, I think the equivalent is Homecoming. It is an annual football game in high school that promotes unity among the students and staff. For one week before the big game, there are lunch time events and school rallies. My list of differences between American and Japanese schools can go on and on, so I will continue them in my next article. Till we meet again, keep cool and enjoy the upcoming summer months!

こんにちは！皆さんお元気ですか？今回は、私のパートナー、ハッピーにお休みしてもらって、私が書くことにしますね。私がこれを書いている間、ハッピーは、ベランダでごろごろとひなたぼっこ中…。

今回のテーマは、アメリカと日本の学校の違いについて。私はこれまでに、小学生から高校生まで教えてきました。初めて日本に来たときに一番ビックリしたことは、学校がきれいだという事と生徒や先生が自分たちで掃除をしていること。アメリカの学校では、用務員さん、もしくは、悪さをした生徒が罰として教室やグラウンドを掃除するんです。用務員さんは、学校の掃除や修理をすることが仕事です。そして、遅刻したり授業に出なかった生徒を引き止める役目もあります。そんな生徒たちは、放課後や土日に、誰かの監視のもとで掃除をしなくては行けないのです。

他にビックリしたのは、運動会。よく聞かれるんですけど、アメリカに運動会はありません。日本の運動会では、子どもたちが一生懸命取り組むところやみんなが一つにまとまっているのを見てとても感動します。アメリカで同じような感動を呼ぶものは、「ホームカミング」でしょう。これは、高校で毎年行われている他校とのフットボール大会で、校内の結束を固めます。この大きな大会の前1週間は昼休みにいろんな催しをしたり、キャンプファイヤーをしたりとお祭り騒ぎです。

私の「アメリカと日本の学校の違いリスト」にはまだまだあるから、また次の号に書きますね。次に会うまで、夏バテしないように、夏を楽しんでくださいね！

お知らせ

尾鈴滝めぐり

約4時間で大小さまざまな滝をめぐります。マイナスイオンを浴びながら、日本唯一の名勝瀑布群の滝をお楽しみください。

日時 7月15日(日)  
受付 午前8時から  
場所 尾鈴キャンプ場第一駐車場  
参加料 500円  
持ってくるもの 弁当、水筒、雨具など  
服装 運動靴、長袖長ズボン  
問 町観光協会 25-5712

社明運動強調月間

7月は、みんなで力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築こうとする全国的な運動「社会を明るくする運動」の強調月間です。罪を犯した人の更正に理解を深めることや、犯罪や非行を生み出さない家庭・地域づくりも大切なことです。

問 福祉課 25-5714

夏の交通安全  
県民総ぐるみ運動

7月11日(水)~20日(金)  
1. 子どもと高齢者の交通事故防止  
2. 飲酒、暴走、過労・居眠り運転など無謀運転の防止  
3. てげてげ運転追放運動の推進  
4. セーフティエコドライブの推進

問 総務課 25-5710

大学など就職面接会

宮崎労働局では、下記のとおり就職面接会を開催します。

日時 6月29日(金)  
午後1時~4時30分  
受付:午後0時30分~  
場所 シーガイアコンベンションセンター

対象者 大学、短期大学、高等専門学校、専修学校などの平成25年3月卒業予定者及び卒業後おおむね3年以内で未就労の人

参加企業 県内企業約100社(参加企業一覧は、宮崎労働局ホームページをご覧ください)

問 宮崎労働局職業安定部職業安定課  
0985-38-8823

第85回 全国安全週間

7月1日(日)~7月7日(土)  
「ルールを守る安全職場

みんなで目指すゼロ災害」平成23年は、1,000人を超える尊い命が労働の場で失われています。県内では、死亡災害が8人、本年でも既に3人(5月9日現在)が労働災害で死亡しています。

労働災害を防止するには、現場の確認、機械設備の安全基準や作業手順などのルールを守るという原点に立ち返ることが必要です。それぞれの職場で、安全活動を実施しましょう。

問 宮崎労働局労働基準部健康安全課  
0985-38-8835

1等・前後賞合わせて5億円!

今年も「サマージャンボ宝くじ」が販売されます。1等4億円が26本、前後賞各5,000万円が52本!

1等2,000万円の「2,000万サマー」も同時発売です。  
※この宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

販売期間 7月9日(月)~27日(金)  
抽せん日 8月7日(火)

AED貸し出します

町民参加、町内開催イベントを対象に、携帯型AED(自動体外式除細動器)を無料で貸し出します。

希望者は、2日前までに申し込んでください。

問 総務課 25-5710

寄付・寄贈

~ありがとうございました~

都農ガス組合がコンロ寄贈



都農ガス組合(古賀隆三組合長)が町に安全装置付きのガスコンロを2台寄贈しました。

5月9日、代表者3人が役場を訪れ、「東日本大震災のときに電気が使

今号の表紙



宝物のような運動会  
全校児童20人の内野々分校のこいのぼり運動会。

動会。甲子園ばりの入場行進、1年生の堂々とした始めの言葉、自信にあふれた4年生のリーダーたち…。のびのびとした態度は、地域住民や先生たちの愛情に包まれているからだと感じた温かい運動会でした。

表紙題字は、日高邦男さん(北新町)

えなかったことをきっかけに、安心安全のガスを普及しようという企画。町民のために活用してほしい」とあいさつ。河野町長は、「今後大きな災害が予想されている。役場庁舎内に設置し、災害時には町民の命を守る手段として活用したい」とお礼を述べました。

東日本大震災支援義援金

(平成23年4月~24年3月受付分)

147万2,297円

(これまでの総額736万2,779円)

寄せられた義援金は、県共同募金会へ送金しました。

ご協力ありがとうございました。

問 総合政策課 25-5711

相談

県の労働相談

県内の労働者、労働組合や事業主などに対する県の無料労働相談。依頼があれば、労働施策アドバイザー(社会保険労務士)が訪問し、労務管理や労働環境整備に関する指導や研修も行っています。

詳しくはお問い合わせください。

問 県商工観光労働部労働政策課

0985-26-7106

ヤングJOBサポートみやざき出張相談

おおむね40歳未満の人の就職に関する無料相談。「どんな仕事に向いているかわからない」「就職活動の方法がわからない」など、専門相談員が相談をお受けします。

電話で直接申し込んでください。

	日時・場所
都城地区	毎週火曜日 都城商工会議所 (都城市姫路町4-1)
日向地区	毎月第2水曜日 日向商工会議所 (日向市上町3-15)
日南地区	毎月第3水曜日 日南商工会議所 (日南市園田2-1-1)
小林地区	毎月第4水曜日 小林商工会議所 (小林市大字細野1899-3)

※時間は、午前11時~午後4時(全地区)

問 ヤングJOBサポートみやざき  
0985-23-7260

石綿による被害給付金  
請求期限が延長

石綿による健康被害については、特別遺族給付金の請求期限が平成34年3月まで延長されました。

詳しくは、お問い合わせください。

問 県労働局労災補償課

0985-38-8837

都農町社会福祉協議会へ寄付

(平成24年3月8日~5月14日受付分)

【香典返し】ご冥福を心からお祈り申し上げます。(敬称略)

寄付者名	物故者名(地区)	寄付者名	物故者名(地区)
熊谷 峯子	親 義(北町)	小泉 修治	己之利(下浜)
塩月 美利	正 志(北町)	金丸 基作	嘉 俊(中町)
海野ナツエ	茂 (寺迫)	河野 研二	スズ工(朝草)
門田 耕輔	英 生(松原)	岩下 清美	良 子(朝草)
三輪 智子	浩二郎(木戸平)	河野 輝久	アサ工(藤見)
大西美和子	敏 夫(松原)	黒木 正文	千鶴子(下瓜生)
河野 宗廣	ステ子(上瓜生)	橋本 民子	盛 芳(下浜)
黒木 和美	義 秋(立野)	鶴輪 耕治	陸 樹(寺迫)
税田 和子	嘉 昭(北新町)	河野 勝子	今朝見(藤見)
黒木佐代子	雪 松(征矢原)	海野 道野	通 治(寺迫)
黒木 豊子	政 人(中瓜生)	富山 樹	三子子(山末)
黒木 正通	ミサ子(立野)	河野 勇	邦 夫(佃)
河野貴美子	久 己(岩山)		

【一般寄付】

河野嘉恵子(中町) 匿名(岩山)

皆さまのご協力に感謝申し上げますとともに、頂きました寄付金は、都農町社会福祉事業に役立てていきたいと存じます。

まちの人口

平成24年6月1日現在  
人口 11,298人  
男 5,330人  
女 5,968人  
世帯 4,615世帯

電話番号

総務課	(25)5710
総合政策課	(25)5711
住民課	(25)5713
福祉課	(25)5714
税務課	(25)5715
出納室	(25)5716
建設課	(25)5717
議会事務局	(25)5718
選挙管理委員会	(25)5719
農業委員会	(25)5720
産業振興課	(25)5721
教育総務課	(25)5723
社会教育課	(25)5724
中央公民館	(25)5725
水道課	(25)5726
●役場の開庁時間は、午前8時30分から午後5時15分までです。	
共同調理場	(25)0341
健康管理センター	(25)1008
町立病院	(25)1031
老人ホーム愛寿園	(25)0753
町民図書館	(25)3316

\*行事予定(7月~9月)\*

7/14(土)~15(日)  
町子ども会リーダー研修  
【社会教育課】  
7/15(日)  
滝めぐり 【町観光協会】  
7/16(祝・月)  
交通安全パレード 【総務課】  
7/22(日)  
町子ども会親善ドッチビー大会  
【社会教育課】  
7/27(金)~30(月)  
糸満市・都農町少年交流事業(糸満市へ)  
【社会教育課】  
8/1(水)~2(木)  
一之宮都農神社夏大祭  
【町観光協会】  
9/16(日)  
都農中体育祭 【教育総務課】  
9/23(日)  
内野々分校運動会 【教育総務課】  
9/30(日)  
町内小学校運動会 【教育総務課】

編集後記

気持ち落ち込んだり元気がほしいとき、ワイナリーの丘からまちを眺めます。海も山も藤見球場の様子も見えます。高台に心地良い風が吹いて鳥や虫の声も聞こえます。大切な人たちの顔が浮かんできます。…なんていいまちなんだろうと思います。眼下に広がる風景を見ていると、大きな味方がいるような気がして、なんだか「大丈夫なんじゃないかな」という気持ちになってくるから不思議です。自然、祭り、ワイン、食、各地区が持つ特色…そして人。子どもたちの未来にもこの素晴らしい資源が受け継がれ、まちの人たちが誇りを持ちながら生活していることを願っています。(甲斐恵子)

# 町職員の人事異動

町は、4月1日付で職員の人事異動を行いました。異動者は、29人（新規採用3人を含む）です。※（ ）は前職

- 〔課長級〕5人  
 会計管理者兼出納室長  
 （老人ホーム愛寿園長）  
 黒木宣好▽社会教育課長  
 （議会事務局長）小泉隆  
 宏▽議会事務局長（社会教育課長）土工勉▽老人ホーム愛寿園長（社会教育課長補佐兼保健体育係長）黒木直治▽国保病院事務局長兼医事係長（国保病院事務局長補佐兼医事係長）門川明広
- 〔課長補佐級〕5人  
 国保病院事務局長補佐兼会計係長（国保病院事務局長）河野良雄▽社会教育課長補佐兼保健体育係長（尾鈴農業公社派遣）河野恵吉▽農業委員会事務局局長補佐兼農政係長Ⅱ産業振興課長補佐併任（社会教育課町民図書館長補佐兼総務係長）河野勝美▽建設課長補佐兼維持係長（住民課長補佐兼生活環境係長）野津手道信▽住民課長補佐兼生活環境係長（農委委員兼事務局長補佐兼農政係長）河野浩二  
 〔係長・主査級〕14人  
 農業委員会農地係長（社会教育課社会教育係長）黒木真理▽税務課固定資産係長（農業委員会農地係長）赤木邦雄▽社会教育課社会教育係長（税務課固定資産係長）吉永真也▽建設課工務係長（建設課維持係長）齋藤謙吾▽宮城県山元町派遣（建設課工務係長）日高太▽総務課車両係長（総務課主任技師）黒木泰博▽社会教育課町民図書館総務係長（税務課主査）太田彩江▽老人ホーム愛寿園主査（社会教育課主査）佐藤良久▽教育総務課主査（税務課主査）吉川理恵▽社会教育課主査（福祉課主査）橋口里佳▽福祉課主査（教育総務課主査）河野祥子▽総務課主査（建設課主査）菊池一心▽福祉課主査（税務課主査）海野由美▽税務課主査（建設課主査）塩月香里  
 〔主事〕2人  
 税務課主事（総務課主事）黒木拓郎▽水道課主事（産業振興課主事）黒木教介  
 〔新規採用〕3人  
 建設課主事 佐藤昇▽産業振興課主事 河野賢一郎▽国民健康保険病院放射線科技師 吉長拓  
 〔退職〕5人  
 ※3月31日付  
 黒木猛士（会計管理者兼出納室長）、御手洗輝（国民健康保険病院放射線科技師長）、沖島眞弓（福祉課主査）、屋富祖伸子（中央保育所主査）、金丸佐都子（老人ホーム愛寿園主任技師員）



- 都農分遣所(山口賢一 所長) ☎25-0698
- 後列右から  
 ●河野孝之(38歳 北町)明田出身 釣り  
 ○松尾拓哉(44歳 新富町)釣り  
 ●山口賢一(55歳 新富町)鹿児島県出身 登山、ゴルフ  
 ○大河内章宏(56歳 川南町)ウォーキング  
 ●増田和也(30歳 新富町)バイク、ドライブ  
 前列右から  
 ●黒木雷太(23歳 川南町)フットサル  
 ●三輪尚正(30歳 藤見)フットサル、音楽鑑賞  
 ○久家孝太(25歳 高鍋町)川南町出身 釣り  
 ●高橋友和(35歳 高鍋町)西都市出身 バイク、サーフィン、ゴルフ



- 都農交番(黒木正文 所長) ☎25-0089
- ※●が、本年4月から都農着任。(年齢 住所)出身地(住所と異なる場合)、趣味など。
- 右から  
 ●黒木正文 (56歳 下菰生) 柔道指導  
 ○中元寺弘一 (53歳 高鍋町) 釣り、将棋  
 ●中野健二 (29歳 明田) 宮崎市出身 読書  
 ○巢立直幸 (24歳 駅通) 宮崎市出身 釣り、ドライブ  
 ●川越大生 (20歳 駅通) 宮崎市出身 釣り、野球  
 ※現在、警察学校入校中(8月頃まで)



都農町消防団

ラッパ隊	南分団			中央分団			東分団			所屬	部長名	管轄地区				
	第6部	第5部	第4部	第3部	第2部	第1部	第4部	第3部	第2部				第1部	本部	第5部	第4部
黒木裕人	黒木美鶴	河野憲一	黒木幸徳	齊藤正樹	児玉新一	軸丸寛俊	黒木孝行	黒木亮一	河野篤史	黒木伸一	服部雄索	菊川慎也	清水一彦	河野重幸	鶴輪尚幸	土工隆博
町内全職	立野轟	篠別府	新田・分子村	明田、駅前	下浜	松原、三日月原	木和田	上・中・下菰生	岩山、坂の上	南新町、北新町	中町、北町	征矢原	長野、内野々	平山、西の郡	寺迫	山末、あけぼの団地
	朝草、水洗	新今別府	福原尾	春の山団地		木戸平、藤見		都農組								黒丸、心見

平成20年4月から東分団長として尽力された海野直幸さん(寺迫)が退団し、新たに黒木昭二さん(平山)が任命されました。

また、5月13日、役場駐車場で新入団員辞令交付式を行いました。本年度の新入団員13人を代表して、中央分団第1部の後藤正寛さん(北新町)が辞令を受け取り、岡田和巳団長が、「消防団員への町民の期待は大きい。しっかり訓練し、消防団活動に精励していただきたい」と激励しました。



新規採用職員は3人です。よろしくお祈いします！



**吉長 拓 (27歳 川南町)**  
放射線科技師  
北海道出身。3月まで鹿児島県の民間病院で働いていました。趣味は旅行。「都農の皆さんと仲良くしたいです」※花嫁募集中です



**河野賢一郎 (25歳 舟川)**  
趣味はバレエ、弓道。「自分の業務以外にも、いろいろな分野に適應できる職員を目指します」

福祉バス「ふれあいおすず号」運転手 濱砂さんから矢野さんへ

(左)9年3カ月勤めた 濱砂 好幸さん(新富町)

都農町で福祉バスの運行が始まった翌年の平成14年12月から約9年半、運転手を勤めました。濱砂さんの優しい人柄は、多くの人に慕われました。

「都農の皆さんにはよくいただき、皆さんの協力のおかげで無事故で勤めることができました。皆さんと顔を合わせることがいつも楽しみであり、また、人生の勉強になった時間でした。今後は、趣味のゴルフや釣りを楽しんだり、地域のために尽くしたりできたらと思っています。ありがとうございました」



(右)4月から運転手を勤めている 矢野 靖二さん(53歳 川南町)

26年間、調理の仕事をしていました。得意料理はだし巻き卵。趣味はバンド演奏、サーフィン、モトクロスなど。

「バスが好きだったこともあり、運転を楽しんでいます。両親の年代のお客さまが多いので自分の親に接するようにやっていきたいと思っています。早く皆さんの顔を覚えて、運転だけじゃなく、心が通い合える仕事ができるよう頑張っていきたいです」

# 表彰

都農町の団体やたくさんの人たちがさまざまな方面で活躍し、表彰されました。おめでとうございます！

## 宮崎 T・S 都農が県優勝！



4月15日に藤見運動公園多目的広場で行われた第13回九州オールレディースソフトボール大会宮崎県予選で、宮崎 T・S 都農(黒木昭二監督 20人)が優勝し、県代表として九州大会に出場しました。

6月2日に福岡県で開催された九州大会では、決勝まで進んだ福岡代表のチームに2-1で惜敗しました。投手を務めた渡部朋子さん(駅前)は、「都農はみんないいものを持っているのに、本番で生かせなかった。勝てる実力はあるチームなので、次回は気持ちで負けないように頑張りたい」と話していました。

## 県障がい者スポーツ大会で6人が金賞



5月13日、宮崎市で第11回県障がい者スポーツ大会が開催されました。9競技に約1600人が参加。都農町からは6人が金賞に輝きました。町身体障害者福祉会の濱渦汎雄会長は「練習を頑張ってきました。大会ではいろいろな交流ができるし、こうして優勝すると励みになります。都農は全国大会や国体出場選手もいるなど活発。これからもいい成績が出せるようみんなで頑張っていきたいです」と話していました。金賞は次の人たちです。 ※敬称略

【陸上】▷100m 河野年郎(篠別府) ▷1500m 河野重春(岩山) ▷ソフトボール投げ 河野伸二(心見) 【フライングディスク】▷アキュラシー5m 河野キミエ(岩山) 入江洋子(坂の上) ▷アキュラシー7m 濱渦汎雄(新今別府)

## 岩田くん・金丸くんが県優勝



5月5日に行われた第30回県少年少女空手道選手権大会で、岩田一馬くん(都農小5年 北町)と金丸竜馬くん(都農南小4年 篠別府)が優勝しました。また、黒木和奏さん(都農南小3年 三日月原)が準優勝しました。3人は8月に東京武道館で行われる全国大会に出場します。  
岩田くん「全国大会は2回目。まずは1回戦突破したい」  
金丸くん「ずっと勝てなかった相手に勝ててうれしかった。全国大会は初めて。優勝したい」  
和奏さん「初めての全国大会でワクワク。頑張りたい」

## 小野川榮義さんに感謝状



平成4年5月1日から同24年4月30日までの20年間、明るい選挙推進協議会委員として明るい選挙の推薦に貢献された小野川榮義さん(駅通)に町は感謝状を贈呈しました。小野川さんは、同8年からは会長を務め、同21年にはその功績が認められて総務大臣表彰も受賞しています。  
なお、新会長には奥松善道さん(北町)が選任されました。

## 選管委員4人に功労者表彰



平成15年12月から町選挙管理委員を務めてきた河野克身さん(北町)、兒玉正高さん(下浜)、河野漸さん(中町)、黒木勉さん(征矢原)の4人が、宮崎県市町村選挙管理委員会連合会児湯支会から選挙功労者表彰を受けました。これは、多年にわたり多くの選挙に従事し、選挙の適正な執行に貢献したことが認められたものです。



都農小 1-1 男8人 女10人 河野純子先生



都農小 1-2 男7人 女11人 河野洋子先生



都農南小 男22人 女13人 日高朋子先生

## ピカピカの1年生♪

4月13日に町内4小学校で入学式があり、91人が新1年生になりました。学校ごとに紹介します。



都農東小 男10人 女7人 千頭美子先生



内野々分校 男2人 女1人 横尾由紀子先生

## 第2回フォトコン審査結果発表！

第2回フォトコンテストは、厳正な審査の結果、河野通廣さんが最優秀賞に選ばれました。今後のコンテスト開催については、随時、観光協会のホームページなどでお知らせします。  
問 町観光協会 25-5712



最優秀賞「海からの尾鈴山」  
河野 通廣さん(都農町)



優秀賞  
「ふれあい」  
百野 達巳さん  
(串間市)



優秀賞  
「宝探し」  
郡司 誠さん  
(宮崎市)

◆つなの宝◆

三日月原

天使になりたい(いずみ)



但田 いずみ 和泉ちゃん(4)  
ちひろ 千紘ちゃん(2)

父母は知治さん、純子さん。独特のポーズをいっぱい見せてくれた個性的な二人。大好きなAKBが流れると思わず踊り出しちゃいます♪

南新町

自然発見が大好き(はると)



多田 はると 陽宗くん(2)  
しゅうげ 修恭くん(1)

父母は浩一郎さん、由紀さん。4月に宮崎市から引っ越してきました。人懐っこくて誰にでも話し掛けます。アリさんにも「こんにちは♪」。

ご意見・ご要望・情報も  
あそびたい仲間

新設 役場総務課(欄外の住所へ)  
FAX 25-1029  
Eメール k-kai@town.tsuno.miyazaki.jp

担当者のアヒス  
お返事はどうぞ

イラスト 河野 幸子さん(南新町)

夢追人 素直な器を作っていきたい

白水工房 瀧本 徳郎さん(38歳 藤見)

昨年暮れ、都農町にできた陶器の工房。本年2月、初窯開きには町内外からたくさんの方が訪れた。瀧本徳郎さんが作る、優しい色をした温かみのある器たちが家庭の中で愛用され始めている。

少年時代から手を動かすことが好きだった瀧本さん。「薄暗い中でおじいちゃんがろくろを回している職人のイメージ」だった陶芸に対して、興味を持つようになった。高校卒業後、佐賀県立有田窯業大学校へ。ここでさまざまな分野の授業に影響を受けた瀧本さんは、彫刻に魅せられ、さらに4年間学校へ。卒業後には、青年海外協力隊に参加。陶磁器科講師としてエルサルバドルで2年間過ごした。



彫刻の学校で知り合った美保子さん(東京都出身)と結婚後、共に3年間過ごしたメキシコでは、陶芸の制作や展覧会などを経験。帰国後、舞台美術の会社でテーマパークなどの美術制作に携わり、昨年、長男然(ぜん)くんの小学校入学に合わせて帰郷。自宅近くの開けた場所に工房を建て、皿、急須、湯のみなどを販売している。

陶芸の魅力を、「ゼロの状態(土を練るところ)から始まって、デザインして、作って、焼き終わって、お客さまに届けるまで一と、全部に携われるところがおもしろい」と語る瀧本さんの夢は、常に変化を加えながらずっと作り続けていくこと。「好きなものが作れて、家族が健康で、夢のような生活です」と瀧本さん。「…保険料とか払うの大変ですけどね」と笑った。

風通しのいい工房。ろくろを回す瀧本さんの手元を見ていると、とても穏やかな時間が流れていく。



やきもの  
白水工房  
shiramizu

〒889-1201 都農町大字川北11786-3(藤見)  
Tel/Fax 0983-25-5946  
不定休 お気軽にお電話ください

都農鰯(アジ)ときゅうりのちらし寿司 きゅうりの歯ざわりと新鮮な都農鰯が寿司飯によく合いますよ。

〈材料2合分〉

- 米 2合
- A 酢 大さじ1強(16cc)
- 砂糖 20g
- 塩 小さじ1弱(4g)
- きゅうり 100g
- B にんじん 30g
- 生姜 6g
- 酢 大さじ2
- 塩 小さじ1/2
- C 都農鰯(アジ) 80g
- 塩 少々
- 酢 適宜
- 青しそ 1枚

〈作り方〉

- ①都農鰯は3枚おろしにして中骨を取り、薄切りにして塩をしてしばらく置く。その後、酢に漬ける。
- ②きゅうりは板ずりしてきれいに洗って薄切りし、塩をしてしんなりさせる。Bのにんじん、生姜は千切りにして、調味料に漬けておく。
- ③炊き上がったごはんAの三杯酢で酢飯をつくり、絞って水気を取ったきゅうりとなんじん、生姜、都農鰯、青しそを混ぜ合わせる。



都農町食生活改善推進協議会  
が作りました

〈栄養素〉1皿分 213kcal  
たんぱく質 3.7g 脂質 0.5g  
カルシウム 3mg 塩分 2.1g